

チエリーインターナショナル株式会社の設立

輸出市場の拡大と行き届いたサービスを行うため、昭和五十四年（一九七九）十二月二十日、

当社が百パーセント出資の子会社「チエリーインターナショナル株式会社」を設立した。

同社設立の必要性和背景を石川五男副社長は次のように述べている。

① 複雑多様化する商品構成の中で、顧客への技術、商品のサービスが、代理店経由では若干満足にできないもどかしさがある。

② 部品メーカーの名による直接輸出は、代理店契約を結んでいる商社といたずらに摩擦を大きくする。特に国際化が進む中、契約と黙約は明確に区別する必要がある。また、これらの契約と併せて、わが社の貿易部門も輸出、輸入のバランスが保たれていることが理想で、特に為替相場の変動による決済時のリスク回避並びに材料、部門、機械設備まで国際レベルで調達を考えねばならない昨今、輸入業務を円滑に展開する部門が必要である。

③ その他、海外との取引時に発生する幾多の業務の中から、梱包、運輸、船積み及び保険代理業などのビジネスも中期的に包括していく計画である。

こうして、設立以来、約一年半の準備期間を経て、五十六年（一九八一）五月から本格的に活動を始めた。